

知多半島における地域住民の健康とソーシャル・キャピタル(1)

: 知多北部・社縁地域の形成と終焉

100038

Social capital and people's health in Chita Peninsula, Aichi Prefecture (1)

: Rise and fall of *Sha-en* community in northern Chita

埴淵知哉 (日本福祉大学)*, 村田陽平 (武庫川女子大学), 近藤克則 (日本福祉大学)

Tomoya HANIBUCHI(Nihon Fukushi Univ.), Yohei MURATA (Mukogawa Women's Univ), Katsunori KONDO(Nihon Fukushi Univ.)

キーワード: 健康の地理学, 社縁, ソーシャル・キャピタル, 知多北部, 新日鐵

Key words: health geography, *Sha-en*, social capital, Northern Chita, *Shin Nittetu*

近年, ソーシャル・キャピタル(社会関係資本)という概念が学際的に注目を集めており, 地理学でもその概念の有効性や是非をめぐる議論が続いている(Mohan & Mohan 2002; Das 2004). ソーシャル・キャピタルという概念が注目されてきた背景には, これまでの地域社会を構成してきた多様な関係性(地縁・血縁・社縁)が形骸化し, それに代わる新たな人間の関係性が希求されていることが挙げられる。ただし, 既往の研究では, 抽象的な次元で人間関係の水平性の重要性が示されたり, 今日の数々の問題を解消する「万能薬」として扱われたりする傾向にあり, 新しい関係性とはいったいどのようなものであるのかが十分に検討されてきたとは言いがたい。

本研究では, この問題に取り組むために, 特に「健康の地理学」(Andrews 2002)の視点から, 愛知県知多半島を事例として, 地域住民の健康とソーシャル・キャピタルに関する二点の基礎調査を実施した。一つ目の本発表では, 知多北部地域を事例に, 高度成長期から近年に至るまで支配的であった「社縁」という関係性に注目し, その形成と終焉による地域の変化を報告する。

知多半島は名古屋市の南部に位置し, 面積 389km², 人口約 60 万人が居住する半島である。古くからの集落がある一方で大規模に開発された臨海工業地帯やベッドタウンがあるなど, 新旧や都市・農村が混在する地域である。一つ目の事例である知多半島北部は, 高度成長期に誕生した製鉄業中心の臨海工業地帯を抱え, 「鉄のまち」とも呼ばれる。昭和 30 年代後半から, 東北や九州からの労働者を大量に受け入れ, 上野台, 南粕谷, 宮津といった内陸の丘陵地を大規模に開発し, 社宅や住宅地を建設した。特に新日鐵の拠点がある釜石からの労働者移動は大規模であ

り, 「民族の大移動」と報じられたほどであった。

当時の新聞記事を概観すると, 「二学期, どっと転入生人口増の上野, 横須賀 二百人増の学校も」(中日 43/9/3), 「東海市が発足 人口七万八千人 “鉄”従業員が二万人」(毎日 44/4/1), 「社員用の大住宅団地 富士製鉄が知多に造成へ」(中日 44/9/27), 「東海市の団地の主婦 住む町の歴史学び”よそ者”意識を返上」(読売 44/12/30)といった記事が並び, 企業中心の宅地開発や人口移動が地域の社会関係を特徴づける大きな要素となったことが窺える。企業による労働者の転入, 宅地開発, 福利厚生を通じて, 特徴的な関係性を持つ「社縁地域」が形成されてきたと考えられ, 出身地の方言が今も流通するなど, 地縁・社縁が複雑に絡み合いながら地域社会が成立している。

しかし開発当時から 40 年余りが経過し, 退職者の増加や社宅の廃止などによって, 社縁地域の終焉を迎える地区も現れ始めた。このような地域社会のあり方は, 退職者の社会参加や閉じこもりをはじめ, 住民の健康を規定する心理・社会的側面とも深く関わっている。本発表では, 社縁地域の維持あるいは終焉が, 当該地域のソーシャル・キャピタル形成や地域住民の健康とどう結びつくのか, 具体的な地域の関係性に注目しながら, その基礎的な調査結果を提示したい。

Andrews, G. J. (2002). Towards a more place-sensitive nursing research: an invitation to medical and health geography. *Nursing Inquiry*, 9(4), 221-238.

Mohan, G. and Mohan, J. (2002) Placing social capital. *Progress in Human Geography*, 26(2), 191-210.

Das, R. J. (2004) Social capital and poverty of the wage-labour class: Problems with the social capital theory. *Transactions of the Institute of British Geographers*, 29, 27-45.

付記) 本研究は日本福祉大学 21 世紀 COE プログラム研究の助成を受け実施された。